

自己点検評価シート

実施

2024年10月分

大分類	中分類	小分類	項目	評価
(1)	教育の理念・目標			
	1	<理念>		
		1	【理念の遵守】当校の理念に基づいた教育機関の運営ができてい る。	A
	2	<目標・目的>		
		1	【目標・目的の遵守】当校の教育目標、教育目的に基づいた教育機 関の運営ができています。	A
	3	<育成する人物像>		
		1	【育成する人物像の明確化】当校の教育目標に基づいた育成する人 物像が明確化されている。	A
	4	<社会ニーズとの合致>		

4	1	【社会ニーズとの合致】社会が必要とされている人材を育成する運営体制をとっている。	A
	5	<理念・目標の周知>	
	1	【教育の理念・目標の周知】当校の教育の理念・目標が教職員及び学生に周知されている。	B
総合評価		学生各々が国際人として活躍するために必要で、当校で目指すべき必要な能力が目標として ほぼ明確に掲げられている。	A
	機関運営		
	1	<運営方針>	
	1	【運営方針の策定】運営方針が当校の理念及び目的に沿って定められている。	A
	2	<事業計画>	
	1	【事業計画の策定】事業計画が当校の理念及び目的に沿って定められている。	A

3	<組織運営>		
	1	【設置者等】設置者、設置代表者及び経営担当役員は、「日本語教育機関の運営に関する基準」で定められた要件に適合している。	A
	2	【校長、主任教員及び教員】設置者、設置代表者及び経営担当役員は、「日本語教育機関の運営に関する基準」で定められた要件に適合している。	A
	3	【生活指導担当者及び入管事務担当者】生活指導責任者及び入管事務担当者が特定され、その職務内容及び責任と権限が明確に定められている。担当者が複数名の場合は、責任者が特定され、それぞれの責任と権限が明確化されている。	A
	4	【入管事務担当者】入国管理局より認められた申請等取次者を配置している。	A
	5	【通訳担当者】受け入れようとする学生の言語に対応できる体制を整えている。	A
	6	【組織体制】設置者、教員、事務職員の配置及び人数が事業規模に対し適性である。	A
	7	【権限と役割の明確化及び周知】教職員個々の権限及び役割が明確化されており、尚且つそれが教職員及び学生に周知されている。	A
	<人事>		

(2)	4	1	【採用基準】教職員の採用方針、採用基準が明確化されている。	A
		2	【育成及び研修体制】教職員の育成方針を定め、教育の質向上及び支援力の強化に向けた育成体制及び研修体制をとるための取り組みがなされている。	A
		3	【ハラスメント防止】教育機関としての信頼を高めるため、教職員に対し、倫理観、振る舞い、ハラスメント防止等に関する研修を行っている。	A
		4	【人事評価】教職員の人事評価基準を定め、適切な評価を行っている。	A
	5	<財務管理に関する規定>		
		1	【予算収支計画】予算計画及び収支計画を年次で策定している。	A
		2	【計画の監査】予算計画及び収支計画、財務状況などを第三者機関により監査することとしている。	A
		3	【日本語教育機関の独立採算制】設置者が日本語教育機関とその他事業の財務会計を分離することとしている。	A
		4	【日本語教育機関への支援体制】日本語学校事業における資金繰りが悪化した際に、役員会承認のもとでその他事業部門より支援を行う体制が保たれている。	A

	5	【予算編成と執行の状況】適切な予算編成が行われ、滞りなく執行されている。	A
	<意思決定システム>		
6	1	【意思決定システムの規定】学則にて校長及び教職員の責任及び意思決定の役割が明確化されている。	A
	2	【意思決定システムの運営状況】意思決定システムに基づき各々が役割に基づいた意思決定を行い、円滑な組織運営がなされている。	A
	<コンプライアンス体制>		
7	1	【コンプライアンス意識の醸成】教職員のコンプライアンス意識を高めるための取組を行っている。	A
	2	【コンプライアンスの評価機能】コンプライアンスに関する担当者を設定し、権限をもってコンプライアンスを遵守する体制を整えている。	A
	<機関運営>		
8	1	【運営方針の周知】短期及び中長期の運営方針と経営目標が明確化され、教職員に周知されている。	A

	c	2	【規定の整備、運用】管理運営の諸規定が整備され、規定に基づいた運用がなされている。	A	
		3	【業務改善の取り組み】業務の見直し及び効率的な運用の検討が定期的、かつ、組織的に行われている。	A	
	9	<納付金>			
		1	【納付時期の明確化】入学検定料、入学金、授業料及びその他納付金の金額及び納付時期が明示されている。	A	
		2	【納付金の明細】学費及び学位以外の費用（寮費等）が明示されている。	A	
		3	【学費の返還規定】関係法令に基づいた学費返還規定が定められ、公開されている。	A	
	総合評価	学校開始前ではあるが、学生の選抜、在留資格の取得申請、そして入国に至るまで着実に進んでおり、現段階の運営は ほぼ順調である。			A
	教育活動				
		<教育準備>			

1	1	【教育理念との適合】教育課程が教育理念に沿った内容となっており、体系的に構成されている。	A
	2	【コース設定】理念・教育目標に合致したコース設定が行われている。	A
	3	【教育方法、進度設計】教育目標達成に向けた教育内容、教育方法、及び進度設計がなされている。	A
	4	【レベル設定】レベルの設定に当たり、日本語教育界において認知されている習熟度を加味できている。	A
	5	【教員間の共有】教育目標及び教育内容について教員間で共通理解が得られている。	A
	6	【教材の選定】教育目標に合致した教材が選定されている。	A
	7	【カリキュラム】カリキュラムは、体系的に編成させている。	A
	8	【授業準備環境】授業に関する学習リソース及び情報を、授業開始までに教員に提供している。	A
	9	【教員配置】教員配置が適切になされている。	A

(3)

2	<教育実施環境>		
	1	【クラス編成】授業開始までに学生の能力を試験等により判定し、適切なクラス編成を行っている。	B
	2	【クラスの特色】教員に対して、担当するクラスの学生の学習目的、編成試験の結果、学習歴その他指導に必要な情報を伝達している。	B
	3	【シラバス】シラバスに基づいて授業が行われている。	B
	4	【修了要件の明示】修了の要件が定められ、学生の理解できる言語によって明示されている。	A
	5	【授業記録の保管】授業記録簿及び出席簿を備え、正確に記録している。	B
	6	【到達度の確認】理解度・到達度の確認が実施期間中に適切に行われている。	B
	7	【自己評価の把握】学生の自己評価を把握している。	B
	8	【学習支援】個別学習指導、学生からの相談、苦情等の学習支援担当者が特定され、適切な指導・支援が行われている。	B

	9	【特別支援】特定の支援を必要とする学習者に対して、その分野の専門家の助言を受けている。	B
	<成績判定>		
3	1	【成績判定基準】成績の判定基準及び判定方法が明確に定められ、開示されている。	B
	2	【成績評価基準】評価態勢、評価方法及び評価基準が適切である。	A
	3	【授業評価】学生による授業評価を定期的に行っている。	A
	4	【評価の反映】評価結果が教育内容や方法の改善、教員の教育能力向上等の取組に反映されている。	B
総合評価	告示校として認可を受けた後、一部分教員の入れ替えはあったが、それぞれ資格、能力のある後任者が引継ぎ、教育活動の準備は滞りない。今後、学生が入学してきてから判明する評価項目に関してはB判定とした。		B
	学修成果		
	<成果の判定>		

(4)	1	1	【成果判定の状況】 学生に対する進級及び卒業等の判定が適切に行われている。	B	
		2	【外部試験】 日本留学試験、日本語能力試験等の外部試験の結果を把握している。	B	
	2	<卒業後の進路>			
		1	【卒業後の状況】 卒業生の状況を把握するための取組を行っている。	B	
		2	【進路の把握】 卒業後の進路を把握している。	B	
		3	【社会的評価の把握】 進学先、就職先等での状況や卒業生の社会的評価を把握に努めている。	B	
	総合評価	開校前で、まだ直接の教育が実施されておらず、学習成果の判断については、準備はしているが、実際に学生の教育に当たるまで未知のことが多いので、暫定的な評価に留める。			B
	生徒支援				
		<学生支援>			

1	1	【学生支援体制】学生支援計画を策定し、支援態勢が整備されている。	A
	2	【休日及び休暇対応】休日及び長期休暇中の学生対応ができてい	A
	3	る。	
	4	【学生に対する研修体制】入学時オリエンテーション、日本での生活に関するオリエンテーション、地域交流や地域活動への参加を通じて、日本での留学生生活を円滑に送るための研修の機会を与えている。	A
	5	【住居支援】住居支援を行っている。	A
	6	【アルバイト指導】アルバイトに関する指導及び支援を行っている。	A
	7	【交通指導】交通事故等の相談体制が整備されている。	A
	8	【健康管理】定期的に健康診断を実施している。	A
	9	【生活指導】学生全体の生活状況について定期的に調査している。	A
		【防災対策】災害、防災に備えた情報提供、指導を行っている。	A

(5)

2	<進路指導>		
	1	【進路指導担当者】 進路指導担当者を配置している。	A
	2	【希望進路】 学生の希望する進路を把握している。	B
	3	【進学情報の提供】 進学、就職等の進路に関する最新の資料が備えられ、学生が閲覧できる状態にある。	A
	4	【進路指導の実施】 学生に対し進路指導を実施できている。	B
3	<在留における指導及び支援>		
	1	【担当者の設定】 在留管理に関する担当者を定め、定期的に在留管理に関わる情報を収集し、指導体制および支援体制に反映している。	A
	2	【入管法令の遵守の徹底】 入管法上の留意点について学生への伝達、指導等を定期的に行っている。	B
	3	【最新情報の把握】 在留に関する学生の最新情報を正確に把握している。	A

		4	【個別指導】在留上、問題のある学生への個別指導を行っている。	B
		5	【法令違反防止に向けた取り組み】不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組を継続的に行っている。	B
		6	【違反者】過去3年間、不法残留者、資格外活動違反者を発生させていない。	A
	総合 評価	入国前の準備としては、学校長含めこれまでの開校準備に携わってきた経験から概ね準備はできていると判断する。ただし、開校前につき評価できない項目についてはB評価とする。		A

	教育環境			
	1	<教育設備>		
		1	【教育設備】教育内容に応じた教育用機器を活用している。	A
		2	【立地】教育機関として適切な位置関係にある。	A
		3	【校地・校舎】安定的に教育活動を継続するための校地及び校舎が整備されている。	A

(6)		4	【告示基準との適合】校地及び校舎は告示基準に定められる基準を満たしている。	A
	2	<校舎・教室等>		
		1	【告示基準との適合】教室は告示基準に定められる基準を満たしている。	A
		2	【換気、採光】教室内は、十分な照度があり、換気がなされている。	A
		3	【自習環境】授業時間外に自習できる部屋が確保されている。	A
		4	【図書蔵書環境】必要な図書及びメディアが、学生が閲覧できる状態にある。	A
		5	【その他設備】トイレ、消防設備、施設内の危険防止設備等、法令上及び学校運営上必要となる設備が整備されている。	A
	総合評価	地理的には大阪市内でありながら比較的閑静な住宅街に位置し、近鉄、JRの駅も近く、学校としては好立地にある。学校の建物は6階建てのビルだが、3階～6階に教室を一つずつ擁し、階ごとの余裕スペースに保健室や図書室等を設け、日本語学校としては必要十分な校舎となっている。		A
	学生募集			

(7)

1	< 情報提供 >		
	1	【募集情報等の発信及び共有】 外部からの情報共有が効率的になされ、かつ、共有化する仕組みがある。	A
	2	【情報伝達の確認】 入学希望者・学習者及びその利害関係者（経費支弁者等）の理解できる言語で直接或いは間接的に情報提供を行っている	A
2	< 学生募集 >		
	1	【募集計画】 理念・教育目標に沿った学生の募集計画を策定している。	A
	2	【定員】 募集定員を定めている。	A
	3	【募集問合せ対応】 職員が入学志願者に対して情報提供や入学相談を行っている。	A
	4	【募集活動における情報提供】 教育内容、教育成果を含む最新、かつ、正確な学校情報が入学希望者の理解できる言語で開示されている。	A
	5	【応募条件に関する情報提供】 求める学生像、応募資格及び条件を入学希望者の理解できる言語で明示している。	A

		6	【募集における法令遵守】日本国および募集活動を行う国・地域の法令を遵守した募集活動を行っている。	A	
		7	【紹介機関とのやり取り】海外の募集代理人（エージェント等）に最新、かつ、正確な情報提供を行っている。また、海外の募集代理人（エージェント等）の行う募集活動が適切に行われていることを把握している。	A	
	3	<入学選考>			
		1	【選考基準】入学選考基準及び方法が明確化されている。	A	
		2	【学生の選考】学生情報を正確に把握し、提出書類により確認を行っている。	A	
		3	【入学選考】入学選考を行っている。	A	
	総合 評価	これまでのところ、入学者募集にあたって適切な情報提供とやり取りができ ており、申請を行っていると判断している。			A
	財務				
	<財務管理>				

(8)	1	1	【財務状況】財務状況は、中長期的に安定している。	A
		2	【予算収支計画】予算計画及び収支計画が策定されており、有効性及び妥当性のある内容になっている。	A
		3	【監査状況】財務状況及び予算収支計画について第三者機関による監査が行われている。	A
		4	【財務情報の公開】財務情報を公開する体制を整えている。	A
	総合評価	財務状況は健全かつ、第三者機関として顧問税理士事務所に日本語教育機関の事業に対する評価を依頼し、経営上問題ないと判断をもらっていることから財務状態は健全であると判断。		
	法令遵守			
		<法令の遵守>		
		1	【著作物に関する法令の遵守】補助教材、生教材を使用する場合は、出典を明らかにするとともに著作権法に留意している。	A
		2	【入管法令に関する法令の遵守】入管法令に関する研修を実施し、生徒及び教職員に法令の順守を徹底させている。	B

(9)	1	3	【個人情報の保護】個人情報保護法に基づき、個人情報を保護する措置を講じている。	A
		4	【交通法規に関わる法令遵守】地域の警察署等と連携の上、生徒に対する交通法規の理解を深める研修を行っている。	B
		5	【その他法令の周知及び遵守】その他法令について生徒及び教職員に必要と思われる内容を周知している。	B
		6	【入国管理局、関係省庁等への届出】入国管理局、関係官庁等への届出、報告を遅滞なく行っている。	A
	総合評価	まだ学生が入学してきていないため、実施予定の者に関してはB評価とした。既に警察署を含めた公共機関と連携し、法令順守に向けたイベントや指導を予定している。		
(10)	地域貢献・社会貢献			
	1	<人材を活用した貢献>		
		1	【ボランティア活動等】地域や社会に貢献する活動に生徒と一体になって取り組んでいる。	B
	2	<施設等を活用した貢献>		

	4	1	【施設利用】日本語学校校舎を自治体や地域住民に提供し、自治会や地域イベント等で活用してもらうことで社会や地域に貢献できる体制を整えている。	C
	総合 評価	地域の自治会に参加済みであるが、イベントやボランティア活動に関する参加予定については協議中につき未定。		C